



教職員の働き方改革にご協力ください

一大野城市立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画（業務量計画）



大野城市教育委員会
(教育総務課教育総務担当)

1. 教職員を取り巻く環境

○児童生徒が抱える課題の**多様化・複雑化**
児童生徒一人一人に応じたきめ細かい対応の実施

○慢性的な**教職員不足**
採用試験の倍率は年々低下



○厳しい勤務実態（本市実績）

平均時間外在校等時間 小学校約**35時間** 中学校約**45時間**



	月45時間以上	月80時間以上	合計
小学校	25.0%	0.6%	25.6%
中学校	38.1%	5.2%	43.3%

中学校の教職員の約**20人に1人**は**80時間以上**

月 学校	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
小学校	45:51	44:05	41:27	35:14	4:59	36:12	41:48	41:02	28:04	31:43	33:54	30:25	34:34
中学校	58:11	56:57	56:07	46:51	12:55	52:43	57:10	47:48	38:09	39:32	38:51	30:41	44:40

国は特別措置法を改正し、各教育委員会に業務量計画の策定を義務化。
教職員の働き方改革は全国的に喫緊の課題！

2. 業務量計画の期間と目標

○計画期間 令和8年度～令和11年度（国の指針と整合）



○時間外在校等時間に関する目標

時間外在校等時間**45時間以上0人**

時間外在校等時間平均**30時間**



○ワーク・ライフバランスや働きがい等に関する目標

年次有給休暇**5日未満0人** 【R6実績：6人】

年次有給休暇平均**18日以上** 【R6実績：小学校17日 中学校13日】

高ストレス者**10%以下** 【R6実績：14.4%】

教職員の働きやすさと働きがいの両立を目指します！

3. 働き方改革の取組の推進（業務量計画から一部抜粋）

○教育委員会・学校の取組

ICT支援・デジタル化（5P）

プール授業の民間委託（6P）

教員業務支援員の配置（6P）

時制の見直し（8P）

管理職の意識改革（8P）

事業・研修の見直し（8P）

医師による面接指導（10P） 等・・・



○家庭・地域に引き続きご協力いただきたい取組（学校以外に協力を依頼する業務）

登下校時の見守り（4P）

放課後や夜間等の見回り・児童生徒の補導時の対応（4P）

部活動の地域展開（6P）

学校行事や時制の見直しへのご理解（8P） 等・・・



更に取組を進めていくためには、家庭や地域の皆様のご協力が不可欠！

学校・家庭・地域が連携して、教職員が更に子どもに向き合える環境づくりをバックアップ！